

国民健康保険税を平均 8.5% (平均 6,011円) 引き上げる条例案 共産党市議団以外の賛成で可決に

3月6日羽村市議会本会議で可決された「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」にたいする鈴木たくや議員の反対討論をお伝えします。



本条例案に反対します。その理由は、市民の暮らしがたいへん厳しい状況になっている下で、今でも「高すぎる」との声が多く、多くの市民からあげられている国民健康保険税を、大幅に値上げする内容となっているからです。

例えば、年収100万円の2人世帯では8,800円の引き上げ、年収300万円の2人世帯では、2万2,000円の引き上げ、などです。

一方で、国民健康保険に加入している人の所得はどんどん下がっています。平成21年度には一世帯あたりの平均所得は186万8千円でしたが、平成23年度には、162万7千円にまで落ち込み、平成24年度には、さらに2%、3万円以上減る見込みとなっています。所得200万円以下の世帯は、全体の72%にもものぼります。こうした暮らしが厳しい市民に、さらに追い打ちをかけることが許されるのでしょうか。

また、国民健康保険税の収納率は、職員の懸命な努力により、平成21年度の85.6%から、平成23年度は89%まで上昇させてきました。しかし、所得が落ち込む下での値上げは、「払いたくても払えない」という滞納者を増加させてしまう危険があります。

それから、私は、値上げを求める答申を出した運営

協議会の傍聴をしましたが、「羽村市の財政もきびしいから、引き上げはやむをえない」ということが多くの委員から語られていました。しかし、羽村駅西口土地区画整理事業には、来年度は4億2千万円を投入する予算が提案されています。この事業は、地権者の3分の1にあたる400人以上から、「第二次設計図案は認められない」との署名が提出されているなど、到底、住民合意を得てすすめられているとは言えません。

そうした事業に、巨額の税金を投入し続けながら、その一方で、国民健康保険税は値上げ、というお金の使い方はおかしいと思います。

確かに、国民健康保険会計はたいへん厳しい状況にあります。高齢化の進展、医療費の上昇が、その理由の一つであることは確かですが、同時に、国や都の財政負担が切り下げられてきたことが、大きな原因となっています。

羽村市だけでなく、国、都も含めた制度の抜本的な改革が急務となっていると思いますが、それまでの間、羽村市は必要な税金投入をおこない、高すぎる国民健康保険税のさらなる上昇を招かないようにすることが求められています。以上で本条例案への反対討論いたします。

国民健康保険税の引き上げの例

年間所得	100万円・2人世帯	300万円・2人世帯
現行年税額	109,500円	267,000円
改定後	118,300円	289,000円
増額	8,800円	22,000円

「なくそう原発、いそげ復興」
3/11集会・パレードに多くの市民集まる



東日本大震災から1年となる3月11日、ゆとりぎ裏のどんぐり山公園で、「なくそう原発、いそげ復興 いのちと暮らしを守る社会を」をスロ

ーガンにした集会がおこなわれ、多くの市民が集まりました。集会後、福生駅と河辺駅をめざし二手に別れて賑やかにパレードがおこなわれました。倉田まなぶ議員、鈴木たくや議員、井上たかし衆院東京25区予定候補も参加しました。

井上たかし衆院東京25区予定候補
吉良よし子参院東京選挙区予定候補
「消費税増税おかしい!」「若者も希望もてる日本に!」3月18日、羽村駅で、横田基地前で、訴えました。



3月16日 はじめての予算委員会が終わる。日頃、市民から寄せられる要望が予算にどう反映されているかという視点で質問をした。準備で寝不足気味だったが、ドリンク剤を飲んで乗り切った。(倉田)

3月18日 娘が活動している武蔵野小吹奏楽団の定期演奏会に参加。ほぼ毎日の朝練習は大変だったろうが、やりとげた満足そうな姿に子どもたちの大きな成長を感じた。(鈴木)